

製品名: リン酸化 JAK2 (Tyr1007) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00831

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 131 kDa; Observed MW: 131 kDa

抗原情報

遺伝子名	JAK2
別名	JAK2; Tyrosine-protein kinase JAK2; Janus kinase 2; JAK-2
遺伝子 ID	3717
SwissProt ID	O60674
免疫原	抗血清は、ヒト JAK2 由来の Tyr1007 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 981-1030

背景

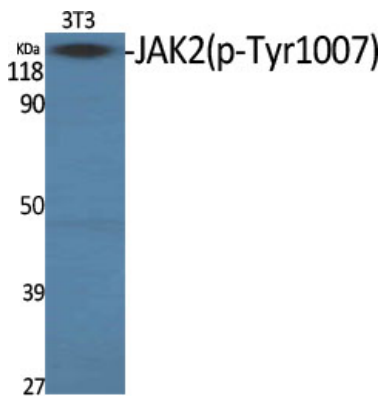
リン酸化 STAT はホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、核に移行して遺伝子転写を活性化します。例えば、赤血球生成中のエリス

ロポエチン (EPO) による細胞刺激は、JAK2 の自己リン酸化と活性化を引き起こし、細胞質ドメインがリン酸化されるエリスロポエチン受容体 (EPOR) と結合します。次に、STAT5 (STAT5A または STAT5B) が JAK2 にリクルートされ、リン酸化され、活性化されます。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Phospho-JAK2 (Tyr1007) 抗体を使用した NIH3T3 溶解物中の Phospho-JAK2 (Tyr1007) のウエスタンブロット分析。